

AMED医工連携イノベーション推進事業（地域連携拠点自立化推進事業）

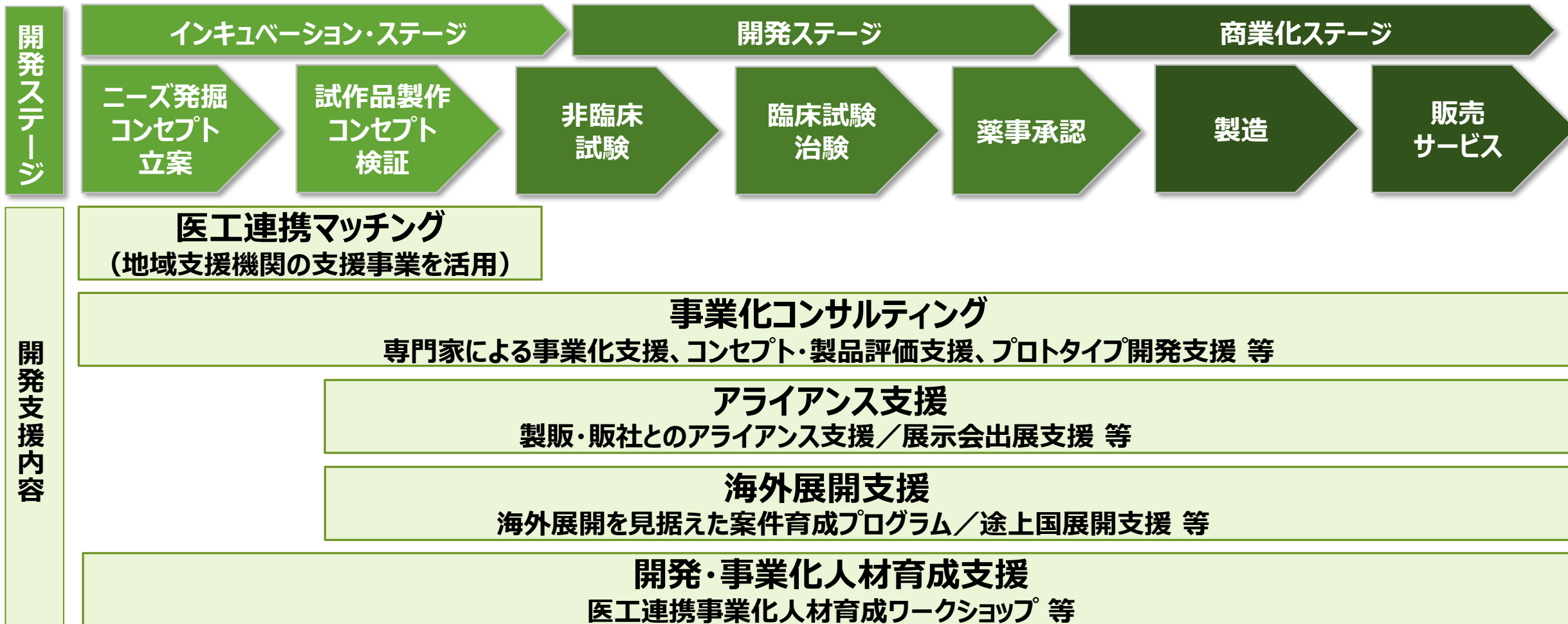
## 国内随一の医療機器開発グローバル・エコシステム 構築に向けた関西地域連携拠点自立化推進事業

---

大阪商工会議所 産業部 ライフサイエンス振興担当

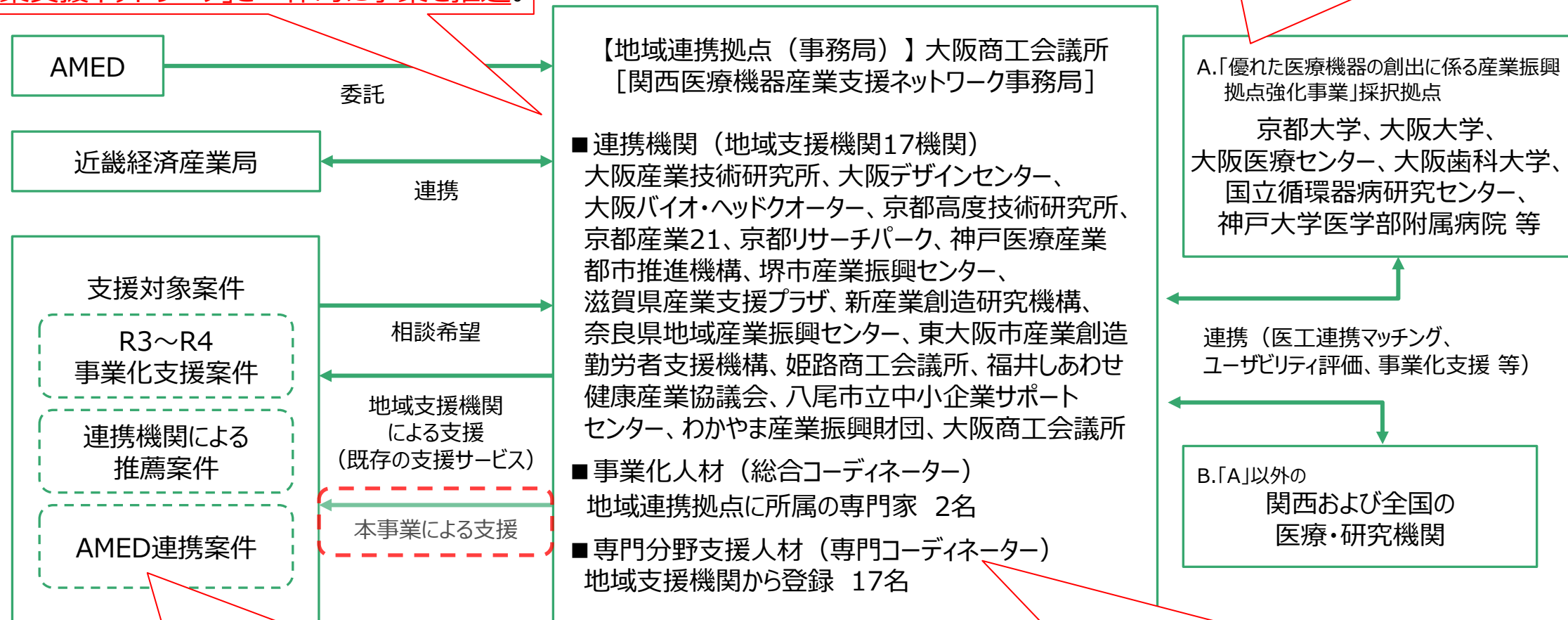
# コンセプト

海外展開を見据え、ニーズ・シーズマッチングからアライアンス、事業化までを  
企業人材を育成しつつ一貫支援する医療機器開発グローバル・エコシステムの構築



# 実施体制

関西の17の地域支援機関で構成する「関西医療機器産業支援ネットワーク」と一体的に事業を推進。



関西のAMED「優れた医療機器の創出に係る産業振興拠点強化事業※」採択6拠点等と連携。

（※）優れた医療機器等の創出を担う人材の研修及びリスキリングを行う拠点

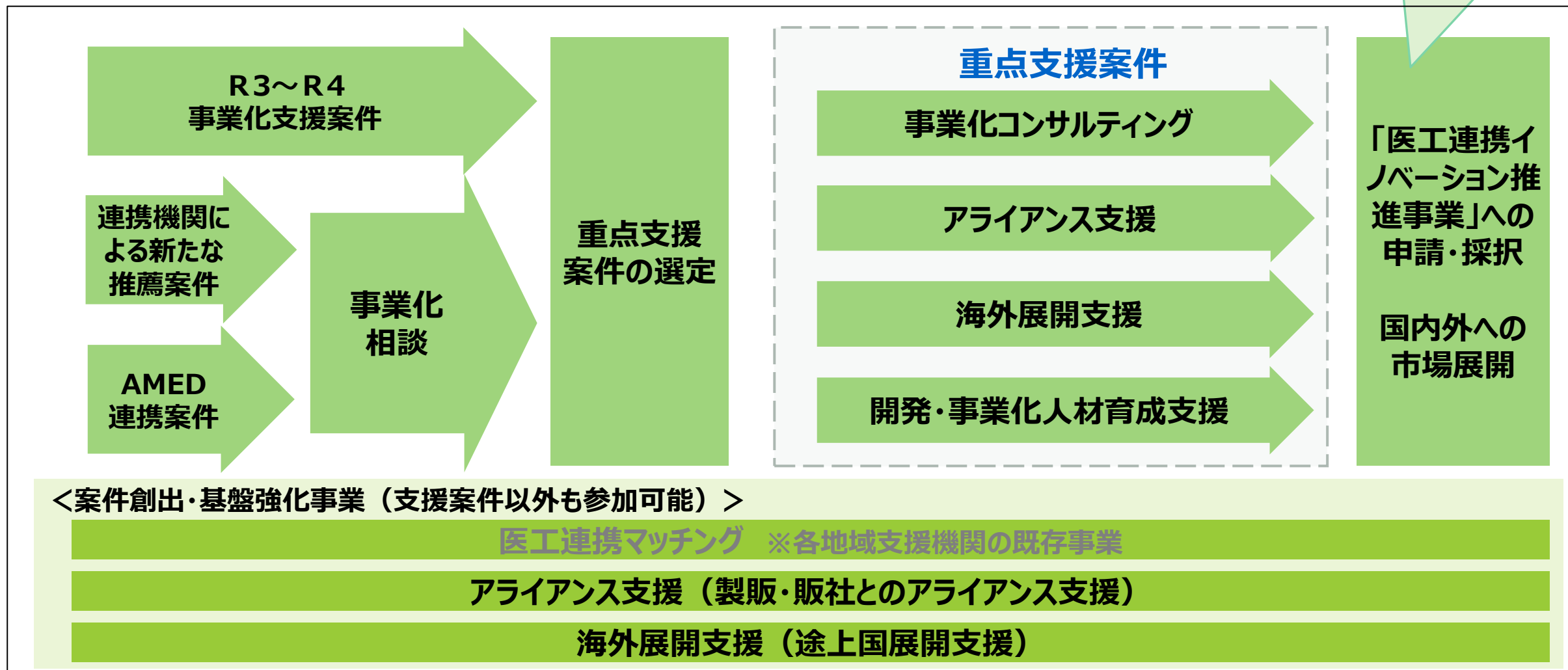
AMED公募事業不採択案件等に対する支援を実施。

経験豊富な支援人材（総合コーディネーター、専門コーディネーター）を配置し、あらゆる案件の課題に対応。

# 支援の流れ

同事業以外の医療機器開発の公募  
事業への申請・採択も目指す

## ◆国内外の市場展開を見据えた「出口戦略」の立案・実行に対する支援を強化



# 本事業における支援内容

## ■ 医工連携マッチング

- ・医工連携マッチングイベント（医療現場ニーズ・シーズと企業のマッチングを支援）
- ※各地域支援機関の支援事業（大商「次世代医療システム産業化フォーラム」等）を活用

## ■ 事業化コンサルティング

- ・事業化人材、専門分野支援人材による事業化支援（事業戦略策定、許認可・保険戦略策定などの支援）
- ・コンセプト・製品評価支援（医療従事者による使い勝手や現場ニーズ評価などの支援）
- ・プロトタイプ開発支援（プロトタイプの有効性や市場性の検証などの支援）

## ■ アライアンス支援

- ・製販・販社とのアライアンス支援（コンソーシアムの組成や製販・販売企業との連携による販路開拓などの支援）
- ・展示会出展支援（国内外のKOLが集まる学会の併設展示会への出展などの支援）

## ■ 海外展開支援

- ・海外展開を見据えた案件育成プログラム＜グローバルナビゲータープログラム＞  
（海外機関・企業とネットワークを有するアクセラレーター「MedTech Actuator」と連携し、  
グローバル市場を対象にした戦略立案、事業推進のための実践教育プログラム、海外医療機関・KOL、  
大手企業、投資家等との連携機会を提供）
- ・途上国展開支援（途上国や新興国の海外の医療機関等と連携した海外市場展開などの支援）

## ■ 開発・事業化人材育成支援

- ・医工連携事業化人材育成ワークショップ  
（支援案件のプロジェクト推進者を対象とした開発・事業化課題解決に関する小人数セミナーの開催など）

# 医工連携マッチング

各地域支援機関の支援事業を活用し、医療現場ニーズ・シーズと企業のマッチングを実施し、医工連携による医療機器開発プロジェクトを創出。

## (例) 大商「次世代医療システム産業化フォーラム」

～有望なニーズ・シーズとのマッチングで医療の課題を解決する製品・サービスを創出～

- **全国初の医工連携プラットフォーム**として、2003年より活動を開始
- **年間8回程度開催し、全国から厳選した40件以上の共同開発案件**等を医師、研究者等から発表
- 参加企業から提案を募り、発表者との面談を事務局がアレンジ。**面談には事業化支援アドバイザーが同席**



＜参考：過去のプログラム(2017年6月)＞

### 【モデレーター】

次世代医療システム産業化フォーラム座長代表 楠岡英雄氏  
(独立行政法人国立病院機構理事長)

### ◆第一部：基調講演

「経済産業省における医療機器産業政策について」  
経済産業省 医療福祉機器産業室長 遠山毅氏

### ◆第二部：共同開発提案セッション

「新規の内視鏡施行同時に食道内圧を測定する方法の開発」  
岡山大学病院総合内科 助教 杉原雄策氏

「立体描写性を高める腹腔鏡上方照明システムのための照明デバイスの開発」  
愛媛大学大学院 医学系研究科 肝臓・胆のう・膵臓・移植外科 講師 高井昭洋氏

「リンパ浮腫患者に対するリンパ管機能測定器の開発」  
国立がん研究センター中央病院 形成外科 がん専門修練医 田代絢亮氏

「フレキシブル基板を用いた視覚誘発電位用光刺激装置の開発」  
山口大学医学部附属病院 脳神経外科講師(学術研究員) 井上貴雄氏

山口大学大学院医学系研究科 脳神経外科学講座 教授鈴木倫保氏  
「医療機器電源コードの無線化」

大阪大学医学部附属病院 臨床工学部 楠本繁崇氏

### ■交流会

## ＜医工連携マッチング例会実績(～2024年3月)＞

ニーズ・シーズ提案 ⇒ マッチング ⇒ さらに進展

課題提案数 (例会発表案件数)	マッチング数 (関心社・研究者との 個別面談数)	面談後進展数 (左記マッチング からの発展)
958件	3,331件	496件

事業化  
(上市等)

72件

※関連事業での  
事業化を含む

※2023年度は**45件**のニーズに対して**158件**のマッチングを実施



# 事業化コンサルティング

連携する各地域支援機関の経験豊富な支援人材が医療機器開発におけるあらゆる課題に対応。「医工連携イノベーション推進事業」への申請が見込める案件は重点支援案件として選定し、コンセプト・製品評価支援やプロトタイプ開発支援も交えながら、伴走支援を実施。

## 事業化相談



### <相談例>

- ・事業戦略策定 ・POC取得/証明 ・開発設計
- ・許認可・保険戦略策定 ・海外展開 など

### <支援人材の専門分野（一部）>

- ・医工連携 ・新規事業開発 ・海外展開 ・品質マネジメント
- ・薬事戦略 ・ベンチャー支援 ・規制対応 ・特許 など

## 重点支援案件の選定

## 事業化コンサルティング（伴走支援）

医療従事者による  
コンセプト・製品評価支援



プロトタイプ開発支援（設計・開発）



「医工連携イノベーション推進事業」  
申請に向けた支援



プロトタイプ開発支援（調査）



### <R6実績>

- 支援案件数：23件（R3～：97件） ■ 重点支援案件数：15件（R3～：46件）
- 支援案件の公募事業への申請数：10件（申請中を含む／うち採択5件）

# アライアンス支援\_製販・販社とのアライアンス支援

製販・販社が求めるニーズと医療機器等の開発に取り組む企業の技術・製品をマッチングし、両者のアライアンス構築・コンソーシアム組成のためのアライアンス支援を実施。

## 医療機器企業への売込商談会 ～製品・試作品編～

開催日：12月10日（火）

※12月16日に一部の商談をオンラインで実施  
実施方法：リアル（大商会議室）  
対象案件：自社開発した医療機器等  
参加企業：

アダチ、オルバヘルスケアHD、カーディナルヘルス、三笑堂  
求めるニーズ：

軟性内視鏡関連機器・検査機器・周辺機器、硬性内視鏡関連機器  
・検査機器・周辺機器、医療現場の合理化・効率化に貢献できる  
ソリューション、静脈栄養関連製品、経腸栄養関連製品、手術室  
関連製品、在宅緩和ケア関連製品、介護福祉用品、医療・介護に  
関わるICT・DX商材 等

■ 商談申込：14社38件 ■ 商談実施件数：24件

- 買い手企業・売り手企業ともに全国から募集！
- 商談前にコーディネーターから提案方法のアドバイスを実施！
- 商談当日はコーディネーターが全ての面談に同席し売り手企業をサポート！

## 医療機器企業への売込商談会 ～部素材・技術編～

開催日：1月23日（木）

実施方法：リアル（大商会議室）

対象案件：医療機器への活用を目指す部素材・技術等

参加企業：

旭化成メディカル、カイゲンファーマ、常光、大研医器、  
ビー・ブラウンエースクラブ

求めるニーズ（過去実績）：

集中治療領域で医療者の労働力削減や患者さんのQOL向上につながる  
技術、消化器内視鏡検査・手術や腹腔鏡手術を中心とした消化器領域  
の医療機器、臨床検査を始めとする検査分野全般、金属加工及び鉗子  
の組立て、皮下に留置するカニューレ部材、局所麻酔、産科麻酔全般  
を向上させる技術 等



# アライアンス支援\_展示会出展支援

国内外のKOLや有力な製販・販社が集まる学会の併設展示会への共同出展等を実施。

- 出展参加企業は原則、重点支援案件から選定。
- 第37回日本内視鏡外科学会総会（医工連携企画）において、3社による共同出展を実施。

## 第37回日本内視鏡外科学会総会（医工連携企画）



### ■ 出展企業：3社

#### ・アットドウス株式会社

薬剤の投与・吸引の新たな手段を提供する新たなポンプを医療機器に活用するスタートアップ。粘性の高い薬液でも強い力で、超微量に正確に、持続的に、局所に、投与や吸引が可能。

#### ・ドクタージャパン株式会社

独自の技術力を活かした金属微細加工により医療用特殊針等を製造・販売。多種多様な針先加工、自由に曲がる吸引/注射針を実現。

#### ・株式会社ロッケン

最新のAI技術やCUDA技術を駆使し、高品質で効率的な医療機器ソリューションを提供。豊富な経験と専門知識を持つチームが規制対応も含めたトータルサポートを提供。

# 海外展開支援\_途上国展開支援

日本発の医療機器の輸出促進を目的に、海外に拠点を有する機関を通じて、途上国や新興国の医療機関等と連携した海外市場展開を支援するための海外医療機関等との連携促進イベントを実施。

- JICA関西との連携により、日本企業がアプローチしやすい現地医療機関等を選定。
- 海外展開に精通するコーディネーターがマッチングを支援。

## バングラデシュ医療分野ビジネスマッチングセミナー ～バングラデシュの医療機器販売会社、医療機関との連携～

開催日時：1月21日（火）14:00～15:40

実施方法：オンライン

プログラム：

- ・バングラデシュにおける投資環境

独立行政法人日本貿易振興機構 ダッカ事務所 所長 安藤 裕二

- ・バングラデシュ医療事情

シップインターナショナルホスピタル 取締役 河野 太志 氏

- ・バングラデシュにおける医療ニーズ発表

《日本の企業・製品・サービスに求めるもの》

GME Limited Executive Director ファルク・アーメド 氏 ※同時通訳

シップインターナショナルホスピタル 取締役 河野 太志 氏



シップインターナショナルホスピタル  
(バングラデシュ)



# 海外展開支援\_海外展開を見据えた案件育成プログラム

グローバル市場を対象にした戦略立案、事業推進のための実践教育プログラム、海外医療機関・KOL、大手医療関連企業、投資家等との連携機会を提供する案件育成プログラム「Global Navigator」を実施。

- オーストラリア連邦政府、ビクトリア州政府、民間企業の合同出資によりメルボルンを本拠に設立された、医療・ヘルスケア分野専門の非営利のアクセラレーター「MedTech Actuator」と連携。
- 8チームが参加（原則、重点支援案件から選定）

大阪 7月～9月

メルボルンイマージョン 10/7(Mon)-11(Fri)

## 座学 ワークショップ

・グローバル展開を目指すための事業戦略の立て方、規制、文化の違い、知財の取り扱いなどについて、ワークショップを実施

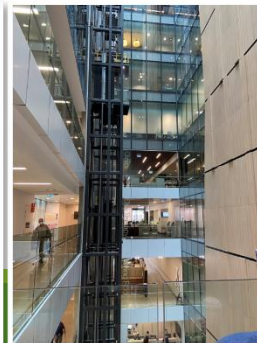
8チーム参加

## メンタリング 個別面談

・1on1ミーティング設定のため、参加者へヒアリング  
・各社が目指す海外市場に関する情報提供  
・ピッチデッキ作成支援

## メルボルン イマージョン

・現地の医療機関、政府機関、企業へ訪問  
・ニーズに応じた1on1ミーティングの実施  
・現地エコシステムとのネットワーキング



# 開発・事業化人材育成支援\_医工連携事業化人材育成講座

企業内の開発・事業化人材の育成のため、重点支援案件のプロジェクト推進者を対象として、開発・事業化課題の解決に関するノウハウを学ぶ「医工連携事業化人材育成講座」を実施。

## R5実績

● 薬事戦略、保険償還、知財、海外展開など、プロジェクト推進者が知っておくべきテーマについて解説。

開催日時：2月28日（水）14:30～17:00、3月12日（火）14:30～17:15  
 実施方法：リアル（大商会議室）  
 参加者：本AMED事業において重点支援する案件のプロジェクト推進者（原則）  
 プログラム：

1日目	1. オリエンテーション（14:30～15:00） 関西地域連携拠点自立化推進事業 総合コーディネーター 2. 医療機器に関する法規制と開発のポイント（15:00～16:00） 関西地域連携拠点自立化推進事業 専門コーディネーター 3. 医療機器開発における知財活動のポイント（16:00～17:00） 関西地域連携拠点自立化推進事業 専門コーディネーター
2日目	1. 出口を見据えた医療機器開発-薬事戦略・保険戦略の考え方（14:30～15:30） 関西地域連携拠点自立化推進事業 専門コーディネーター 2. 海外展開計画策定（15:30～16:30） 関西地域連携拠点自立化推進事業 専門コーディネーター 3. 医療機器開発における国の競争的資金の活用について（16:30～16:45） 近畿経済産業局 4. <まとめ> 国プロ活用による医療機器開発の推進（16:45～17:15） 関西地域連携拠点自立化推進事業 総合コーディネーター



■参加者：17名

## 公募事業への採択実績(令和3年度～)

- ・ R4成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech事業）【中企庁】
- ・ R4成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech事業）2次公募【中企庁】
- ・ R5医工連携イノベーション推進事業（開発・事業化事業（ベンチャー育成））【AMED】
- ・ R5成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech事業）【中企庁】
- ・ R5医工連携イノベーション推進事業（開発・事業化事業）2次公募【AMED】
- ・ R5橋渡し研究プログラム（シーズH）【AMED】
- ・ R5次世代ヘルステック・スタートアップ育成支援事業【AMED】
- ・ R6橋渡し研究プログラム（シーズA）【AMED】
- ・ R6成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech事業）【中企庁】
- ・ R6開発途上国・新興国等における医療技術等実用化研究事業（アフリカ）【AMED】
- ・ R6ディープテック・スタートアップ支援事業【NEDO】 など



## 本件担当

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 委託事業  
医工連携イノベーション推進事業（地域連携拠点自立化推進事業）  
国内随一の医療機器開発グローバル・エコシステム構築に向けた  
関西地域連携拠点自立化推進事業 事務局

大阪商工会議所 産業部 ライフサイエンス振興担当（松山、竹中）

TEL:06-6944-6484

E-MAIL:amed-ikou@osaka.cci.or.jp